

決議（案）第2号

外国人技能実習制度の廃止を求める決議

上記の決議（案）を別紙のとおり提出する。

令和4年3月28日

三鷹市議会議長 土 屋 けんいち 様

提出者	三鷹市議会議員	嶋 崎 英 治
賛成者	〃	野 村 羊 子
〃	〃	伊 沢 けい子

## 外国人技能実習制度の廃止を求める決議

2021年3月、名古屋出入国在留管理局でスリランカ人のウィシュマ・サンダマリさんが死亡していることが明らかになった。その原因は、彼女が起き上がれないほど衰弱し、点滴を求め、仮釈放を求めても、当局がこれを拒否したことにある。

真相究明のために来日したウィシュマさんの遺族（妹2名）が、監視カメラ映像の全面開示・提供を求めたが、当局はいまだにこれを拒否している。

世論は、日本政府に対して、ウィシュマさんの死亡の真相究明を行うために監視カメラ映像の全面開示・提供を強く求めている。

日本は今、「奴隷的労働を強いる国」であると世界的に批判を受けている。その代表的なものが外国人労働者の技能実習生制度である。外国人労働者は、多額の費用を払い、多額の借金を背負って来日して債務労働を行っている。賃金・労働条件は極めて低く、労働環境も最悪の企業で働き、外国人労働者は、そのようにして日本の労働力の一角を担っている。

現在、日本には約40万人の技能実習生がいる。2021年7月、技能実習生制度と闘う指宿昭一弁護士がアメリカ国務省から「人身取引と闘うヒーロー」として表彰されたが、それは日本の技能実習生制度に、国際社会が「ノー」を突きつけていることの象徴的表れにほかならない。

よって、本市議会は、国会及び政府に対し、人権侵害の温床となっている技能実習生制度の即刻廃止について下記のことを求める。

### 記

- 1 国際的にも批判されている、外国人労働者の技能実習生制度を速やかに廃止すること。
- 2 外国人技能実習生制度を廃止した上で、非熟練労働者の受入れを前提とした在留資格を創設し、外国人を受け入れることについて、その是非、その範囲及び制度が変更されるまでの間の現在の技能実習生の処遇などを、外国人の人権に配慮した上で、早急に国会などの場で十分に検討すること。

上記、決議する。

令和4年3月28日

三 鷹 市 議 会